

一般社団法人日本体力医学会定例理事会（2021年8月）議事録

日時：2021年8月27日（金）午後5時30分～7時15分

場所：ZoomによるWeb会議

議長：鈴木政登理事長

出席者：鈴木政登理事長、

碓井外幸、西平賀昭各副理事長、

武政 徹常務理事、太田 真、大野 誠、

栗原 敏、後藤勝正、小山勝弘、須田和裕、

須永美歌子、竹森 重、田中喜代次、中里浩一、

永富良一、前田清司、宮内 卓、宮川俊平、

和気秀文各理事、清田 寛、定本朋子各監事、

加藤 公第76回大会長、

小橋 元第77回大会長

欠席者：赤間高雄、井福裕俊、下光輝一、新開省二、

成田和穂、浜岡隆文各理事、

井上 茂、小林康孝各監事

その結果、当年度収支差額は7,581,018円の黒字決算の見込みとなった。

【報告事項】

1. 第76回（三重）大会の進捗状況（加藤第76回大会長）

加藤大会長の予定により、資料に基づき、先に第76回大会の報告が行われた。

会場：三重県総合文化センター

会期：2021年9月17日（金）～19日（日）

テーマ：「知の継承と共有」

尚、オンラインでの開催となったため、大会開催支の予算変更が報告された。

【審議事項】

1. 前回議事録の承認（鈴木理事長）

理事会終了時までに訂正等がなかった場合には、自動的に承認されることにした。

2. 令和3年度庶務報告に関する件について

（武政総務委員長）

資料に基づき、令和3年度庶務報告がなされた。

2021年7月31日現在、会員総数は3,787名（昨年度から156名減少）、評議員は508名（内医師75名、非医師433名）、賛助会員6団体、新入会員237名（昨年度から57名増加）、退会者414名（内自然退会229名）であることが報告された。また、2年以上会費未納者リストが提示され、2年以上の会費未納者については、自然退会とすることが承認された。自然退会者リストに載っている会員で、声掛けできる会員には、会費納入の催促をして欲しい旨、依頼された。

3. 令和3年度会計報告に関する件について

（宮川財務委員長）

資料に基づき、令和3年度決算について、報告された。

収入の部：会費収入は38,034,200円（内正会員35,800,000円）であり、収入合計は54,555,223円となった。

支出の部：新型コロナウイルス感染症拡大の影響のため、国内外交流費、スポーツ医学研修会の中止による運営費の支出減少などにより、支出合計額は46,974,205円となった。

4. 令和3年度事業報告に関する件について

（鈴木理事長）

資料に基づき、令和3年度事業の概要が報告された。また、各種委員会による「報告事項」と合わせて報告してもらうことにした。

1) 総務委員会（武政総務委員長）

(1) 本学会の庶務に関する事項

中富健康科学振興賞候補者推薦に関する情報収集、候補者検討

2020年7月2日付で依頼のあった中富健康科学振興賞につき、本学会理事である下光輝一氏を中富健康科学振興賞受賞候補者として推薦した（2020年9月7日）。

(2) 学会大会長に関する事項

第77回大会（栃木）の大会長候補者として、小橋元氏（獨協医科大学医学部公衆衛生学講座教授）を2020年11月20日の理事会において推薦した。

2) 編集委員会（後藤編集委員長）

(1) 学会誌出版（学会誌刊行に係わる事業及び電子ジャーナル公開）

「The Journal of Physical Fitness and Sports Medicine (JPFISM)」

Vol. 9のNo. 4, No. 5, No. 6; Vol. 10のNo. 1, No. 2, No. 3

「体力科学」

Vol. 69のNo. 4, No. 5, No. 6; Vol. 70のNo. 1, No. 2, No. 3

※電子ジャーナルの公開は、J-STAGE『印刷前公開』での実施

※DOAJへのメタデータアップロード開始（創刊号からのバックナンバーもアップロード済）

◎JPFISM掲載論文リストのメール配信

◎DOAJ取載に向け投稿規定改訂

論文種別「Study Protocol」を「Study Profile」に変更（2020.10.28）

剽窃チェックソフト J-STAGE Similarity Check運用開始（2020.11.12）

◎JPFISM誌、DOAJ (Directory of Open Access Journal) に取載（2021.1.7）

◎ジャーナルの活性化対策の検討「特集号」の掲載・企画

注目されている hot topic に焦点を当てた「特集号」を掲載

「JPFISM」Vol. 10, No. 3

第3回特集：Global trends in high-intensity interval training (HIIT)
5編掲載

「体力科学」Vol. 69, No. 6

第4回特集：労働衛生分野における体力科学研究
5編掲載

(2) 「JPFISM」誌、「体力科学」誌の投稿・掲載状況

<投稿状況>

(2020年9月1日～2021年7月31日)

「JPFMSM」誌：新規投稿52編（内海外11編）
（特集号5編含む）

※前年同期間：新規投稿59編（内海外7編）

7/31現在、審査中11編（採択19編、不採択20編、
原稿取下げ2編）

※受付不可16編（投稿規定に沿わない等で原稿返却、
国内1編、海外15編）

「体力科学」誌：新規投稿44編

※前年同期間：新規投稿53編（依頼総説1編、依頼
教育講座4編、特集号3編含む）

7/31現在、審査中12編（採択13編、不採択18編、
原稿取下げ1編）

<発行予定>

「JPFMSM」誌

○Vol. 10, No. 5（2021年9月25日発行）
掲載論文8編

○Vol. 10, No. 6（2021年11月25日発行）
学会大会抄録集

「体力科学」誌

○Vol. 70, No. 5（2021年10月1日発行）
7/31現在、掲載論文3編

「特集号」

○JPFMSM Vol. 11, No. 2（2022年3月25日発行）
第3回特集「Physical Fitness Matter: epidemiology & measurement」

○体力科学 Vol. 71, No. 2（2022年4月1日発行）
第4回特集「骨盤底筋エクササイズ Exercise for pelvic floor muscles」

3) 学術委員会

(1) スポーツ医学研修会委員会

(中里スポーツ医学研修会委員長)

新型コロナウイルス感染拡大を受けて本研修会は
本年度も中止の旨2月19日理事会にて報告した。
中止の決定は本学会ホームページおよび体力科学
70巻2号にて告知した。

(2) 称号委員会（確井称号委員長）

資料に基づき、日本体力医学会健康科学アドバイザー
継続申請者16名の氏名リストが掲示され、承認された
(内、終身称号者は4名)。

(3) 学会賞選考委員会（前田学会賞選考委員長）

第34回日本体力医学会学会賞候補の選考を行った。
また、第77回栃木大会では、第33回、第34回、
第35回日本体力医学会学会賞の表彰と受賞者講演
を執り行う予定。

(4) ガイドライン検討委員会

(宮内ガイドライン検討委員長)

「生活習慣病の蔓延」と「高齢化の進行」が本邦で
大きな社会問題となっているため、「健康寿命の
延伸」を目指した活動を視野に入れたガイドライン
の作成などを進めている。さらに、競技スポーツ
における安全対策、特に熱中症対策やアンチ
ドーピング等についてのガイドライン作成も進め
ている。

4) 財務委員会（宮川財務委員長）

令和4年度予算案の作成と令和3年度の予算の適
切な執行の確認。

5) 利益相反委員会（須田利益相反委員長）

情報収集に努めた。

6) 評議員選考委員会（大野評議員選考委員長）

資料に基づき、評議員選考委員会において候補者
19名に対しての審査を行い、全員が評議員選考条件
を満たした旨の報告があり、2021年度評議員候補者
として19名を評議員に推薦することが承認された。
また、「評議員推薦書」について、2022年度より推薦
者の自署・捺印を省略し、氏名・会員番号を記入す
る書式にし、性別選択項目を任意にすることが提案
され、承認された。また、この書式改訂について、
学会ホームページに告知することが決定された。

7) 渉外委員会（永富渉外委員長）

1. 国際交流事業

1) ECSS オンライン2021（9月予定）

ECSS-JSPFMSM Exchange Symposium

産業技術総合研究所 菅原順先生(座長・演者)、
徳島大学 三浦哉先生(演者)「動脈ステイフ
ネスと運動トレーニング」(採択)

2) 2020横浜スポーツ学術会議(2020.9.8-12)の
シンポジウム担当

(http://yokohama2020.jp/jp/index_jp.html)

3) 他の国際学会との連携

(1) World Sports Medicine and Health Sum-
mit 2021

(ドイツスポーツ医学会主催) 身体不活動撲
滅Hamburg宣言2021参加。

(2) ACCESS (Asian College of Exercise &
Sports Science) 設立準備

2. 国内関連学術団体との交流・連携

1) 脳心血管病予防に関する包括的管理合同会議

2) 国内学会との連携

(1) 日本生理学会大会

(2) サルコペニアフレイル学会、日本臨床運
動療法学会など・倫理委員会

◎大会の演題応募における倫理的手続きの検討

8) 広報委員会（須永広報委員長）

1. 学会ホームページの管理・運営

9) 男女共同参画推進委員会

(須永男女共同参画推進委員長)

1. 男女共同参画学協会連絡会への参加

2. ワークショップ開催に関する検討

10) 全国地方会実行委員会

(竹森全国地方会実行委員長)

遠隔での地方会大会を開催する地方会の情報を仲
介するとともに、地方会がない地域の解消を目指し
て甲信越地区に関東地方会の支部を形成することを
検討している。

5. 令和4年度会計報告（予算）及び科目追加による予
算表改訂に関する件について

(確井副理事長、宮川財務委員長)

確井副理事長より、前回の理事会で承認された予算
書の構成について、地方会開催収支の科目を作り、簡

潔な予算書が提示され、承認された。

宮川財務委員長より、改訂された予算書に基づき、令和4年度予算案について報告された。

収入の部：現在の会員数および会費納入率実績(90%)に基づいて試算し、正会員会費は33,320,000円、会費収入全体では35,575,000円として計上した。収入額合計は69,796,100円として計上した。

支出の部：第76回年次学術大会がWeb開催に変更したことやスポーツ医学研修会が昨年同様中止となり、支出合計予算額が68,851,600円となった。当年度収支差額は944,500円となる見込みである。

また、年次大会での本部シンポジウムで、非会員の講師を招聘する際の費用として、支出の部に「本部シンポジウム補助金」の勘定科目を設け、30万の予算を組むことが提案された。審議の結果、承認された。

6. 理事再任審議の件について（鈴木理事長）

定款細則、第4章、第5条の2. に基づき、9月16

日(木)に開催される社員総会で、理事の再任が諮られることが報告され、承認された。また、社員総会終了後、臨時理事会を開催し、理事長、副理事長、常務理事、各種委員会委員長、各委員の再任審議を行うことが報告された。

7. その他

1) 退会者防止対策について（鈴木理事長）

前回の理事会で、新規入会者を増やす企画を立案することが承認されたが、近年、新規入会者数に対し、退会者数との差が100人前後であり、退会者数が上回っていることが調査報告された。この問題について、各理事へ退会者数を減らす、具体的な方策を考えていただくことが提案された。

【報告事項】

2. 第77回(栃木)大会の進捗状況(小橋第77回大会長)

小橋大会長より、大会の準備状況について報告された。

会 期：2022年9月21日(水)～23日(金)

会 場：栃木県総合文化センター